

23:31 エホアハズは二十三歳で王となり、エルサレムで三か月間、王であった。彼の母の名はハムタルといい、リブナ出身のエレミヤの娘であった。

23:32 彼は、すべてその先祖たちがしたように、【主】の目に悪であることを行った。

23:33 ファラオ・ネコは、エルサレムで王であった彼をハマテの地リブラに幽閉し、この国に銀百タラントと金一タラントの料金を課した。

23:34 それから、ファラオ・ネコは、ヨシヤの子エルヤキムをその父ヨシヤに代えて王とし、その名をエホヤキムと改めさせた。エホアハズは捕らえられ、エジプトに行き、そこで死んだ。

23:35 エホヤキムは銀と金をファラオに贈った。ただし、ファラオの要求するだけの銀を贈るために、この国に税を課さなければならなかった。彼は、ファラオ・ネコに贈るために、一人ひとりに税を割り当て、銀と金を民衆から取り立てた。

23:36 エホヤキムは二十五歳で王となり、エルサレムで十一年間、王であった。彼の母の名はゼブダといい、ルマ出身のペダヤの娘であった。

23:37 彼は、すべてその先祖たちがしたように、【主】の目に悪であることを行った。

【新改訳 2017】

### Ⅱ 列王

24:1 エホヤキムの時代に、バビロンの王ネブカドネツアルが攻め上って来た。エホヤキムは三年間彼のしもべとなったが、その後、再び彼に反逆した。



24:2 そこで【主】は、カルデア人の略奪隊、アラムの略奪隊、モアブの略奪隊、アンモン人の略奪隊を遣わしてエホヤキムを攻められた。ユダを攻めて滅ぼすために彼らを遣わされたのである。【主】がそのしもべである預言者たちによって告げられたことばのとおりであった。

24:3 実に、このようなことがユダに起こったのは、ユダを主の前から除くという

【主】の命によることであり、それはマナセが犯したすべての罪のゆえ、

24:4 また、マナセが流した咎のない者の血のためであった。マナセはエルサレムを咎のない者の血で満たした。そのため【主】は赦そうとはされなかったのである。

24:5 エホヤキムについてのその他の事柄、彼が行ったすべてのこと、それは『ユダの王の歴代誌』に確かに記されている。

24:6 エホヤキムは先祖とともに眠りにつき、その子エホヤキンが代わって王となった。

24:7 エジプトの王は自分の国から再び出て来ることがなかった。バビロンの王が、エジプト川から大河ユーフラテスに至るまで、かつてエジプトの王に属していた全領土を占領したからである。

エホアハズ、エホヤキム（エルヤキム）、のことが記されています。ここにあるようにエジプトとバビロンの2大国のせめぎあいの中にユダ王国は翻弄されていました。これらの王たちは、信仰ではなく、外交的すなわち人間的な手法と偶像礼拝に明け暮れましたが、どちらも神を信頼しないという点においては同じです。

神を信頼しましょう。立場が弱いほど、主の強さに信頼しましょう。それが信仰です。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

